

eGY宣言 (地球科学における情報共有の宣言) ・ ・ ・ 和訳。原文は[ここ](#)を参照してください。

《知識は人類の共有財産である》 (“Knowledge is the common wealth of humanity”(*))

[序]

国際デジタル地球年(eGY)は、国際学術会議や世界情報社会サミット他、数多くの機関と同様、知識は人類の共有財産であると考えます。私たちには、現在および後の世代に対し、デジタル情報の持つ豊かな可能性を実現するための戦略を構想し実行する責任があります

この21世紀から先、デジタル情報の利用および情報統合と知識発見の新技术は、世界中の社会の自由で生産的な発展に貢献すると予想されます。分野間にまたがる莫大で、しかも不断增加しつつあるデジタル情報を自由に使えるようにすることは、人類の生存に影響する複雑な地球システムを理解し、問題に対処するための鍵となります。

[地球科学においては他の分野と同様、次のような懸案があります]

1. データへのアクセス
地球システムのデータと情報は、分野をまたがる自由なアクセスを可能にする方法により、電子的に利用できるようにされるべきである。
2. データの公開
地球システムに関するデータの所有者、管理者および作成者は、知的財産権と情報セキュリティの制限は守りつつも、デジタル情報を全世界と分かち合えるよう協力すべきである。
3. データについての解説
地球システムのデータと情報の提供者および利用者は、複数の情報資源にまたがる取り扱いを可能とし、また、それらの間の関連を見つけることができるよう、データ構造と内容および付帯情報を共有すべきである。
4. データの存続
地球システムについてのデータと情報は、現在および未来においても自由に使えるよう、ソフトウェアとハードウェアの両方に対し、独立な形式で保存されかつ受け継がれなければならない。
5. データの救出
消失の危険にさらされている重要な地球システムのデータを見つけて救出し、継続的にアクセスできるように務める必要がある。
6. 分野間の標準化と協同
国際協同により、分野間にまたがったデータを取り扱えるようにするために標準化すべき点を特定し、開発して使用するべきである。

7. 情報と利用技術の普及

最新の情報技術と通信手段を持つ社会は、情報とその利用から隔絶された人々と地域をなくすことに寄与すべきである。

8. 教育と一般社会への啓蒙

人類の生存に大きな影響のある地球システム現象を理解し、対処できるようにするため、地球システムの情報は、あまねく学生、科学者、政策決定者および大衆に伝えられるべきである。

(*) Adama Samassekou, Convener of the UN World Summit on the Information Society.